日本政府の対アイヌ政策に異議あり

テッサ・モーリス＝スズキ

Tessa Morris-Suzuki

世界の先住権の常識で再考するアイヌ政策

二〇一九年三月九日（土曜）午後一時半～五時
札幌市教育文化会館 中央区北一条西十三丁目
参加無料
（印刷資料を五〇〇円で頒布します）

Rethinking Ainu Policy in the Context of Global Indigenous Rights

Saturday, March 9, 13:30- 17:00 Admission free
Sapporo Education and Culture Hall, N1 W13, Chu-o-ku

日本政府の新しいアイヌ政策には、「先住民族の権利に関する国連宣言」が各国政府に求めている「先住権保障」の視点がみあたりません。この問題に詳しいテッサ・モーリス＝スズキさんを講師に迎え、問題点を洗いだすとともに、望ましい対アイヌ政策について議論を深めます。

テッサ・モーリス＝スズキ
オーストラリア国立大学名誉教授（日本史）。主な著書に『過去は死なない』（岩波書店、2004）、『East Asia Beyond the History War: Confronting the Ghosts of Violence』（共著、2013）、『The Living Politics of Self-Help Movements in East Asia』（共編、2018）などがある。2013 年「福岡アジア賞・学術研究賞」を受賞。

そのほかのプログラム

- アイヌの方々からの発言
- 報告「先住権としての遺骨地域返還をめぐる状況と今後の展望」
（市川守弘・遺骨返還請求訴訟原告団代理人）
- 自由討論
- 集会声明

主催　北大開示文書研究会　TEL/FAX 0164-43-0128　hmjk.world.coocan.jp
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院

協賛　コタンの会、浦幌アイヌ協会、紋別アイヌ協会、少数民族懇談会、アイヌ政策検討市民会議
モシリ コル カムイの会、日本キリスト教団北海道教区アイヌ民族情報センター
真宗大谷派北海道教区差別問題研究部会、浄土真宗本願寺派北海道教区教務所
北海道宗教者平和協議会、北海道AALA連帯委員会、週刊金曜日（順不同）

アイヌ先住権をめぐる連続出前講座 18-19